

キタキツネ物語 (1978)

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 114分

初公開日 1978/07/15

公開情報 東宝東和

【解説】

北海道の大自然を舞台に、キタキツネ一家の温かくも厳しい生活を追いかけたドキュメンタリードラマ。脚本と監督は蔵原惟繕、撮影は栃沢正夫らが務めた。

冬のオホーツク。流氷を渡ったキタキツネのフレップは、美しいメスのレイラと一緒にいる。春になると子供たちが生まれ、フレップとレイラは五匹の子ギツネの親となった。元気な子ギツネたちだが、一匹だけ目の見えないチニタがいた。チニタは家族の負担になりたくない、自らの身を海へ投げ打つ。梅雨の時期、空腹の子供たちのためにフレップとレイラは餌を探しに行くのだが、レイラが罾にかかってしまう。そこへ、レイラの声聞きつけた犬たちが現れるのだが…。

【クレジット】

監督	蔵原惟繕
製作	辻信太郎
企画	竹田津実 高橋健
原案	高橋健
脚本	蔵原惟繕
撮影	栃沢正夫 桂塚彰 仙元誠三 松前次三 大村日出男 立石桂介
編集	鈴木暁
音楽	佐藤勝
歌	町田義人 朱里エイコ ゴダイゴ Godiego
助監督	三村順一
ナレーション	岡田英次 Eiji Okada
声の出演	大林丈史 (モノローグ) 朱里エイコ (モノローグ)